

講座名	共通選択	教科	芸術	科目	書道Ⅱ
開講学年	第3学年 人文社会フィールド	履修区分	自由選択	単位数	2
教科書	書Ⅲ（光村図書）				
教材	資料集 墨心（教育出版） 高校硬筆の練習（教育出版）				

1 科目の目標・学習内容

書道Ⅰ、書道Ⅱを履修した生徒がさらに次の段階に学習を深化、発展するために設定されている科目です。

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

「表現」の内容では漢字の書、漢字仮名交じりの書、仮名の書、篆刻の学びを通して、書の伝統を理解し、自らの作品に生かすことを目指し、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求します。

「鑑賞」においては書の美の多様性を理解し、作品の様式美を鑑賞し、日本および中国等の書の伝統とその背景となる諸文化との関連について理解を深めます。

2 学習の到達目標

① 書への関心・意欲・態度	② 書表現の構想と工夫	③ 創造的な書表現の技能	④ 鑑賞の能力
各書体や書風の成立過程、点画や用筆の特徴、用筆・運筆の技法を、主体的に確認している。	鑑賞を通して書風を理解し、臨書に生かし、文字の大きさや配置、書体などを工夫し、全体の構成を主体的に工夫し表現できる。	臨書を通して点画の特徴を理解し、用筆・運筆の技法を習得する。制作意図に基づいて線質や字形、全体構成を工夫する知識や技能を習得する。	古典の特徴を的確に捉え、その美を感受している。多様な書の美しさと表現効果を味わい、その良さを感じ取っている。

3 学習計画（記載例）

月	単元名	特に培いたい資質能力	学習内容	単元の評価規準				評価方法 【評価規準】
				① 関心意欲態度	② 書表現の構想と工夫	③ 創造的な書表現の技能	④ 鑑賞の能力	
4	篆刻の学習	構想力 集中力 創造力	○意図した表現を達成するために、押し刀・引き刀、補刀の技法を理解させる。	●篆刻に関心を持ち、各段階の作業に意欲的、主体的に取り組んでいる。	●篆書の構造的な構造美を理解し、字形や全体構成を工夫している。	●篆刻制作の手順を理解し、刻る技術と知識を身につけている。	●書作品における印の果たす効用を理解している。	ワークシート 篆刻作品
5	漢字の書1 楷書の学習	観察力 表現力 鑑賞力	○各古典の鑑賞・臨書を通して表現された時代や地域によって異なる書風の違いを理解させる。 ○各古典の特徴を適切に表現するための技法を身につけさせる。 高貞碑・龍門造像記 龔寶子碑・鄭義下碑 喪乱帖・温泉銘 祭姪文稿	●各古典の成立過程、点画や用筆の特徴について、主体的に確認している。	●鑑賞を通して各古典の書風を理解し、臨書に生かしている。	●臨書を通して各古典の点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を習得している。	●各古典の特徴を的確に捉え、その美を感受している。	書作品
6	行書の学習							
7								
8	漢字の書2 隸書の学習	観察力 表現力 鑑賞力	○古隸の成立と特徴を理解させる。 ○各古典の臨書を通して古隸の字形や点画、線質の特徴、用筆・運筆の技法を理解させる。 張遷費 開通褒斜道刻石	●古隸書の成立過程、点画や用筆の特徴について、主体的に確認している。	●鑑賞を通して古隸の書風を理解し、臨書に生かしている。	●臨書を通して古隸の点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を習得している。	●古隸の特徴を的確に捉え、その美を感受している。	書作品
9								

10	漢字の書の まとめ	構想力 観察力 表現力	○これまでの学習の成果を 生かし、紙のサイズに適し た表現の違いを理解させ、 作品を制作させる。 半紙作品・半切 1/2 作品	●自らの個性 を生かすため の古典を主体 的に選択し、 確認できている。	●鑑賞を通し て自ら選んだ 古典の書風を 理解し、臨書 に生かしている。	●選択した古 典の特徴を理 解し、それを 表現するため の用筆・運筆 の技法を習得 している。	●自ら選んだ 古典の特徴を 的確に捉え、 その美を感じ ている。	書作品
11	漢字仮名交 じりの書	構想力 創造力 鑑賞力	○漢字と仮名を調和させ ながら、自ら選んだ字句 を表現するための狙いを 工夫し、その方法を理解 させる。 ○文字の大きさ、配置、 書体などを工夫して、全 体の構成を工夫する力を 身につけさせる。	●漢字・仮名 の調和につい て関心を持ち 、自ら選んだ 字句を意欲的 、主体的に表 現しようとし ている。	●漢字と仮名 の調和、文字 の大きさ、配 置、書体など を工夫し、全 体の構成を主 体的に工夫し 表現している 。	●制作意図に 基づいて線質 や字形、全体 構成を工夫す る知識や技能 を習得してい る。	●書的美しさ と表現効果を 味わい、相互 の鑑賞を通し てその良さを 感じ取ってい る。	ワーク シート 試作品 書作品
12	実用の書	構想力 創造力 発表力 鑑賞力	○カレンダーの制作を通 して、数字の表現、字句 の表現、紙面の着色の調 和など目的に応じた表現 を理解させ、自分らしい 表現の工夫をさせる。	●自らの個性 を生かすため の字句を選定 し、意欲的、 主体的に構想 を考え、表現 しようとして いる。	●紙面と文字 の大きさの関 係、紙面の着 色と文字の関 係を理解し、 自らの表現に 生かしている 。	●数字の書表 現や字句の書 表現について 制作意図に基 づいて工夫す る技法を身に つけている。	●数字の書表 現、着色、字 句の書表現の 調和を味わい 相互の作品鑑 賞を通してそ の良さを感じ 取っている。	書作品 ワーク シート
1	卒業制作	構想力 創造力	○自らの表現を目指し、こ れまで学んできた知識、技 能を用い、内容に応じた表 現の工夫をさせる。	●目的に応じ た表現を意欲 的、主体的に 構想を考え、 表現しようと している。	●これまで学 んだ知識や技 能を自らの表 現に生かそう と構想を工夫 している。	●制作意図に 応じた表現を するための知 識や技能を習 得している。	●書的美しさ と表現効果を 味わい、相互 の鑑賞を通し てその良さを 感じ取ってい る。	書作品 ワーク シート

4 評価基準

作品制作態度、提出作品、ワークシート、グループワークをもとに、総合的に評価する。

5 その他